

2007年6月25日

各 位

双日株式会社

双日、ベトナム初となる食品コンビナートの開発事業に進出  
～ ベトナム大手製粉会社に出資し、港湾インフラ整備・拡張に着手 ～

双日株式会社は、ベトナム製粉大手のインターフラワー・ベトナム社（本社：ホーチミン市、Interflour Vietnam Limited / IFV 社）の発行済み株式の20%を取得し、ベトナムで初めてとなる食品コンビナートの開発および港湾インフラ整備事業を行います。本プロジェクトは、まず2007年7月に IFV 社の製粉工場を中心に港湾インフラの整備・拡張、土地整備、穀物サイロ・倉庫の建設に着手し、2008年秋の完工を目指します。さらに、港湾インフラの整備工事の完工と前後して、配合飼料、植物油、でん粉、糖、バイオエネルギーなどの生産に関する事業化調査を行い、整備した港湾の後背地に食品コンビナートを建設する計画で、双日の資金投入額は、IFV 社の株式取得額と合わせ約100億円となります。

IFV 社は、インドネシア最大の財閥サリムグループとオーストラリア最大の農業協同組合コーペラティブ・バルク・ハンドリング社( Co-operative Bulk Handling Limited )の合併会社であるインタフラワー・ホールディングス社 ( Interflour Holdings Limited ) が100%出資する事業会社で、年間の小麦製粉能力は約18万ト、ベトナム第二位の製粉会社です。IFV 社の製粉工場は、ベトナム南部では唯一となる、パナマックス級(6 - 8万ト)の本船が着岸可能な高深度港を建設できる地域であるチャーバイ河岸に立地しています。また、製粉工場に隣接している IFV 社が保有する船舶用岸壁は、同地域では唯一の穀物専用岸壁でもあります。

IFV 社が保有する岸壁の穀物荷役能力は、現在、一日当たり約8000トですが、港湾整備、穀物サイロ・倉庫建設後には、一日当たり18000トの荷役が可能となり、穀物専用港としては ASEAN 域内最高の荷役施設を備える港となります。効率的な港湾インフラを建設して高騰の続く穀物の輸入コストを削減するとともに、穀物専用岸壁の整備と食品コンビナートの開発を行うことにより、ベトナムでの食の安全と食品産業の発展に寄与して参ります。



IFV 社製粉工場所在地



IFV 社の製粉工場、サイロ、穀物エレベーターと荷役コンベヤー



チーバイ河と荷役中の本船



食品コンビニート建設予定地（港湾の後背地）

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03 - 5520 - 3183